

報道関係者各位

2024年5月20日  
水ing株式会社

## 鶴岡市公共下水道汚泥資源化（コンポスト化）事業施設整備業務契約を締結／水ing エンジ

水ing株式会社のグループ会社である水ingエンジニアリング株式会社（社長：須山晃延、本社：東京都港区）は山形県鶴岡市との間で、設計・施工一括発注（DB：Design Build）方式による「鶴岡市公共下水道汚泥資源化（コンポスト化）事業施設整備業務」に関する契約を締結しました。



新施設の外観イメージ図

### 【本事業の背景】

鶴岡市では、下水処理過程で発生する汚泥や消化ガス、熱エネルギーなどを循環資源とし、「コンポスト」や「消化ガス発電」などの資源化事業に取り組んでいます。

1986年より稼働する鶴岡市コンポストセンターでは、近隣にある鶴岡浄化センターから輸送された下水汚泥をコンポスト（堆肥）化し、その堆肥は「つるおかコンポスト」<sup>※1</sup>としてJA鶴岡によって販売されています。SDGsの広がりや、近年の世界情勢による肥料価格の高騰により、「つるおかコンポスト」は全国から注目を集め、需要が高まる一方、同施設は老朽化に伴い稼働率を制限したことで、製造量の減少、また、設備のメンテナンス費増加といった課題を抱えています。

本事業では、民間事業者のノウハウや技術の活用を目的としたDB（Design、Build）方式で新施設を建設することで、上述した課題を解消し、鶴岡市における持続可能な循環型社会の実現に寄与します。

※<sup>1</sup> つるおかコンポスト

脱水した汚泥にもみ殻を加え、高温で発酵させた堆肥。土壌改良材として緑農地に還元される。  
2023年度の生産量は年間 530t。

### 【契約概要】

- 事業名： 鶴岡市公共下水道汚泥資源化（コンポスト化）事業施設整備業務
- 契約者： 水 ing エンジニアリング・石庄建設・山田工務店・アベ電工特定建設工事共同企業体
- 新設場所： 鶴岡浄化センター敷地内（山形県鶴岡市宝田 3 丁目 21-1）
- コンポスト製造量： 1,620t/年
- 契約日： 2024年3月25日
- 工事期間： 2024年3月25日～2027年3月31日

### 【本事業における当社の役割】

当社は、新規コンポスト施設の設計、施工、および建設後のメンテナンスの業務を担います。長年培った技術とノウハウを活用するとともに、発酵設備に当社製品の「パドル式攪拌装置」を採用することで、メンテナンス費の削減、コンポスト製品の安定供給を実現し、安定的で効率的な運営に貢献します。



写真 1：攪拌装置全景



写真 2：パドル式攪拌装置

### <ポイント>

- 発酵設備  
混合と解砕に優れるパドル式攪拌装置により、ムラの無い均一な発酵が可能。
- コスト削減  
一次発酵槽、二次発酵槽を一体化し、機器点数が削減することで、設備のメンテナンス費とユーティリティコストを削減。
- 省エネへの取り組み  
プラント機器や建築付帯設備（照明・空調設備等）に省エネ性能の高い機器を採用することで、消費電力や温室効果ガスを削減。

## 【関連リリース】

・山形県鶴岡市と消化ガス発電事業の基本協定を締結

<https://www.swing-w.com/news/release/20140826.html>

### ◇水 ing（すいんぐ）グループについて◇

「生命の源である『水』を通じていつまでも社会に貢献し続ける（ing）」を経営理念に掲げ、水処理施設（浄水場、下水処理場、汚泥再生処理センターし尿処理場、民間施設等）の設計・建設から運営、維持管理までをトータルに手掛けています（運転・維持管理の拠点は、国内約 300 か所）。

これからも地域の暮らしの課題に目を向け、安全安心な水環境を提供し続けるとともに、循環型社会の実現に貢献してまいります。

（公式 WEB サイト <https://www.swing-w.com>）

問合せ先：経営企画統括部 広報部    Tel:03-4346-0612    E-mail : pr.news@swing-w.com